

# Yamagata University Annual Report 2013

山形大学  
アニュアルレポート2013



国立大学法人  
山形大学

## > Contents

|               |    |
|---------------|----|
| 学長メッセージ.....  | 01 |
| 教育.....       | 03 |
| 学生支援.....     | 06 |
| 研究.....       | 09 |
| 産学官の連携.....   | 13 |
| 地域とのかかわり..... | 15 |
| 経営.....       | 18 |
| ファイナンシャルレビュー  |    |

### 基本理念

山形大学は、「自然と人間の共生」をテーマとして、  
次の5つの基本理念に沿って、  
教育、研究及び地域貢献に全力で取り組み、  
キラリと光る存在感のある大学を目指す。

#### 学生教育を中心とする大学創り

何よりも学生を大切にし、学生が主体的に学ぶ活気のある大学を目指す

#### 豊かな人間性と高い専門性の育成

健全な批判精神に裏付けされた幅広い教養を基に豊かな人間性を育み、  
基礎学力と高い専門性を基盤として課題発見・解決能力に優れた人材を育成する

#### 「知」の創造

人類の諸課題を解決するため山形大学独自の先進的研究を推進する

#### 地域及び国際社会との連携

自然環境保全を意識し、地域に根ざして世界をリードしていく大学を目指す

#### 不断の自己改革

計画・実行・評価・改善の改革サイクルによる不断の自己点検評価を行い、  
基本理念を実現するために大学改革を継続する



## > ファイナンシャルハイライト(平成24事業年度)

|                  | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3)  | 増減(前年比) |
|------------------|---------------|----------------|---------|
| 資産               | 103,568       | <b>108,181</b> | 4,612   |
| 負債               | 40,561        | <b>44,497</b>  | 3,936   |
| 純資産              | 63,007        | <b>63,683</b>  | 676     |
| 費用               | 36,913        | <b>37,979</b>  | 1,066   |
| 収益               | 36,893        | <b>37,628</b>  | 734     |
| 運営費交付金収益         | 11,131        | <b>10,685</b>  | △ 445   |
| 授業料等収益           | 5,257         | <b>5,113</b>   | △ 144   |
| 附属病院収益           | 15,615        | <b>16,339</b>  | 724     |
| 受託・寄附金等収益        | 2,186         | <b>2,015</b>   | △ 170   |
| その他              | 2,702         | <b>3,474</b>   | 771     |
| 当期総利益            | △ 19          | <b>△ 350</b>   | △ 331   |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 4,007         | <b>3,890</b>   | △ 116   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 4,706       | <b>△ 3,177</b> | 1,528   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 689           | <b>△ 910</b>   | △ 1,600 |
| 資金期末残高           | 1,030         | <b>832</b>     | △ 197   |
| 国立大学法人等業務実施コスト   | 15,385        | <b>15,061</b>  | △ 323   |

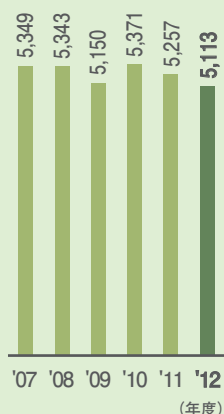
注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。  
詳細については、後の「ファイナンシャルレビュー」を参照ください。

財政状態については、補助金の獲得により有機エレクトロニクスイノベーションセンターを設置し、施設整備費補助金等により工学部、医学部の施設の改修工事等を行ったことや、借入金により附属病院再整備事業を推進したことにより、資産が約46億円、負債が約39億円増加しています。

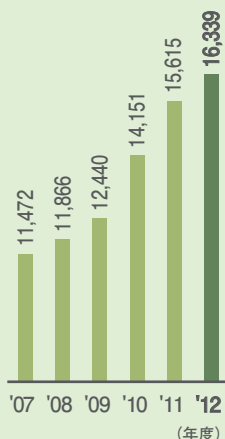
運営状況については、補正予算による運営費交付金の減（給与カット相当分）等の影響により運営費交付金収益が約4億円減少しており、また、附属病院において、患者数の増及び手術件数の増等により、附属病院収益が約7億円増加しています。一方で、建物の建設及び改修に伴う臨時的支出などもあり、経常ベースで約2億円の損失を計上しています。

さらに、建物等固定資産の除却損等を計上し、最終的に平成24事業年度は3億5千万円の当期総損失となっています。

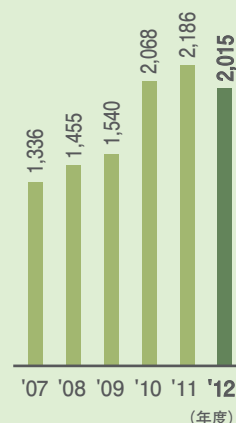
授業料等収益  
(百万円)



附属病院収益  
(百万円)



受託・寄附金等収益  
(百万円)



## 国民の皆様へ



**結城 章夫**  
山形大学長

山形大学は、約1万人の学生が集い学ぶ、東北地方有数の総合大学です。私は、大学の主役は学生であり、学生を何よりも大切にしたいと考えています。受け入れた学生の一人ひとりに丁寧できめの細かい教育を行うこと、そして「豊かな教養」と「優れた専門性」を備えた卒業生を社会に送り出すことが山形大学の最も重要なミッションです。

このため、教養教育のカリキュラムを抜本的に見直し、平成22年度の新入生から、新しい教養教育を「基盤教育」として提供しています。現在は、平成25年1月に策定した「結城プラン2013」に基づいて、学士課程教育全体の改革・充実や、有機エレクトロニクスの世界的研究拠点の構築、重粒子線がん治療装置の導入などに全力で取り組んでいるところです。さらに、東北に所在する国立大学として、東日本大震災後の東北の復興と新生のために、可能な限りの貢献をしてまいります。

この「アニュアルレポート2013」は、山形大学の事業や財務に関する最新情報をとりとまとめています。このレポートを通して、山形大学の現状について国民の皆様のご理解が深まれば幸いです。

山形大学が何よりも学生を大切にして教育を重視する大学として発展していけるよう、私と5人の理事・副学長、そして2,200名の教員・職員は、気持ちを一つにし、力を合わせて努力してまいりますので、皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

山形大学の主役は学生です。  
学長も教職員も学生のために働いています。  
受け入れた学生の一人一人に丁寧な教育を行うこと、  
そして、「優れた教養」と「高い専門性」を備えた  
卒業生をできるだけ多く社会に送り出すこと、  
それが、山形大学の最も重要なミッションです。

**主役**は学生。

何よりも**学生**を大切にする  
大学を目指して



## > 教育

### 地域のリーダーを担う人材の育成 ～実践教育プログラムがスタート～

「3つのポリシー」とは？

ディプロマ・ポリシーとは、卒業認定・学位授与に関する方針、カリキュラム・ポリシーとは、教育研究課程の編成・実施に関する方針のこと。これらと、入学受入れに関する方針であるアドミッション・ポリシーの3つのポリシーが、中央教育審議会がまとめた答申（「我が国の高等教育の将来像」平成17年1月28日）においてその必要性が強調された。

「教育を通して、学生に、より力強く、より豊かに生き抜くための「人間力」を身につけてもらうこと」を目標として、山形大学はこれまで「基盤教育」の導入やアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの明確化による学士課程全体の改善と充実などの教育改革に取り組んできました。

その教育改革の流れを受け、平成25年度から小白川キャンパスでは3学部共通の特別教育コース「実践教育プログラム」を開設しました。このプログラムは、グローバル化に対応できる人材や、東北地方の地域再生を担うリーダーを育成するために、各学部の専門教育とは別に実施されるもので、海外留学を必須とし、グローバル化に対応できる人材育成を目指す「グローバル・スタディーズコース」、長期のインターンシップなどを通して自治体行政、NPOや企業において活躍し、地域社会を担うリーダーを育成する「公共政策スタディーズコース」及び「企業活動スタディーズコース」が用意されています。

それぞれのコースが定員15～20名と少数精鋭で、留学やインターンシップなど実践経験の充実に加えて、授業でもワークショップや、社会で活躍するゲストを迎えての講演会など、体験型の学習機会を豊富に取り入れており、学部で体系的に学んだ専門知識の応用能力や課題発見・解決能力を兼ね備えた人材の育成を目指します。

### 理工学研究科フレックス大学院が博士課程教育リーディングプログラムに採択

山形大学が世界に誇る有機エレクトロニクスの研究資源を利用し、その分野でグローバルに活躍するリーダーを育成するためのプログラム「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」の学生受け入れが平成25年度からスタートしました。

フレックス大学院の最大の特徴は、従来、前期2年・後期3年に分かれている博士課程を5年一貫にしたことで、途中で研究を中断したりすることがなくなり、さらに5年間の履修計画などもよりフレックスに組み立てられるようにしたことで、より効率的に学修・研究に専念できる環境づくりを実現しました。理工学研究科（工学系）に進学する全ての院生が受験可能です。

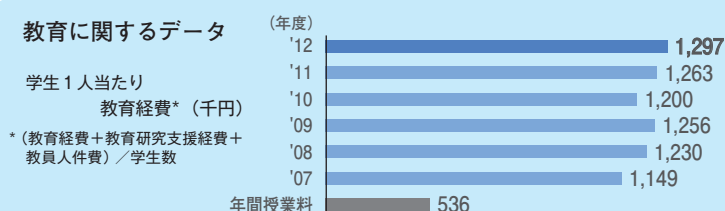
フレックス大学院の目的は、フロンティア有機材料システム分野を切り開く「価値創成グローバルリーダー」を育成することです。具体的には①高い問題意識と使命感、②高度な専門性、③複眼的思考と価値創成実践力、④グローバル企画コミュニケーション能力という4つの資質を併せ持った人材の育成です。定員は12名、優秀な学生を内外から集め、奨励金の支給や授業料及び寮費の補助など、最大限のバックアップの元にグローバルリーダーの育成を目指します。本プログラムは、日本学術振興会の「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されています。全国から38件の申請があり、オンリーワン型として採択されたのは本学及び東京大学、千葉大学、秋田大学、長崎大学の5件のみでした。

科学研究費補助金配分金額  
(基盤研究B：化学分野)

|              | (百万円) |
|--------------|-------|
| 1 東京工業大学（理工） | 59.9  |
| 2 京都大学（工）    | 45.8  |
| 3 大阪大学（理）    | 45.0  |
| 4 山形大学（理工）   | 40.9  |
| 5 大阪大学（工）    | 40.2  |
| 6 京都大学（化学研）  | 35.5  |
| 7 群馬大学（工）    | 29.0  |
| 7 北海道大学（工）   | 29.0  |

(出典：週刊朝日  
「大学ランキング 2014年版」)

#### 教育に関するデータ



#### 学生1人当たり図書\*

**624千円 (118冊)**

(参考)  
昨年度623千円 (118冊)

\*図書 / 学生数



## 快挙！～在学生初、声楽の全国コンクールで第1位～

平成24年9月22日に開催された「第4回東京国際声楽コンクール」において、地域教育文化学部音楽芸術コースの3年生（当時）松浦恵さんが、大学生部門で1位の栄冠に輝きました！在学中の全国コンクール第1位は、同学部で初の快挙です。

松浦さんは、他大学の1年次までフルートを専攻していましたが、その後声楽への転向を決意、本学の地域教育文化学部音楽芸術コースに声楽専攻で入学を果たしました。

入学後、腕を磨いた松浦さんは、2年次に学生オペラ公演「コジ・ファン・トゥッテ」にてヒロインのドラベッラ役に抜擢され、見事にその大役を演じきりました。

その後、準備を重ね、初めてチャレンジした「東京国際声楽コンクール」で、いきなりの本選出場。ベッリーニ歌曲「美しいニーチェ」とドニゼッティのアリア「いとしいフェルナンド」の2曲で臨んだ本選では、44人にもものぼる本戦出場者の中で、審査員8人中5人が1位採点という圧倒的な評価のもとに、栄えある第1位に輝きました。

松浦さんを指導する藤野祐一教授は「曲を歌うだけでなく、役柄に入れる才能がある。技術的には課題もあるが、音楽性、芸術性が評価された」と分析。「今後は試験や学生オペラ公演に全力で取り組み、いずれは沢山の観客に感動していただける歌手になれるよう、勉強を続けていきたい」と話す松浦さんが、世界のディーヴァ（歌姫）となる日も、もしかしたらそう遠くはないかもしれません。

ステージで歌声を披露する松浦さん





南極・昭和基地から、附属小・中学校生に向けて語りかける、鈴木毅「隊員」(写真右)



南極からのメッセージに熱心に耳を傾ける生徒たち

## 附属小学校で「南極教室」を開催

2012年10月12日(金)、附属小学校にて「南極教室」が開催され、附属小学校の6年生120人と、附属中学校の2年生40人が参加しました。

この「南極教室」は、本学職員<sup>(※)</sup>である鈴木毅さんが、第53次南極地域観測隊(越冬隊)に参加していたことがきっかけとなり、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所の主催により実現したものです。

附属小学校と約1万4000キロも離れている南極・昭和基地とを衛星回線で接続。はじめに、大型スクリーンに映し出された鈴木さんが生徒たちに対し、基地周辺の様子や日頃の仕事内容、食事などについて紹介。質問コーナーでは、「南極でシャボン玉は作れるか?」、「南極でスポーツはできるか?」などの疑問に対し、映像を交えて楽しく解説。初めて知る南極の様子に、生徒たちは目を輝かせていました。

今回の「南極教室」は、普段はテレビや映画の中でしか見ることができない南極をぐっと身近に知ることができ、南極観測の意義について理解を深める貴重な経験となりました。

※当時は文部科学省へ出向

### 「鈴木毅の南極通信」

山形大学ホームページでは、鈴木毅隊員の南極での活動の様子を公開しています。

詳細については、ホームページ右下のバナー



をクリックするとご覧いただけます。

(<http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/you/modules/common14/index.php?id=31>)



## > 学生支援



平成25年3月にリニューアルした新「啓明寮」の外観

### 農学部学生寮「啓明寮」がリニューアル ～キャンパスアメニティの充実～

平成25年3月28日（木）、老朽化と耐震補強のために改築を行っていた農学部学生寮「啓明寮」が完成、開寮式を行いました。

改築前の啓明寮は、昭和41年に設立、木造で2人1部屋の相部屋が52室の男子寮でしたが、今回改築に伴い個室化、1階に男子用44室、2階に女子用27室を設けました。それぞれの個室にはトイレ付ユニットバス、エアコン、オール電化のミニキッチンを備え、2階の女子寮フロアへの入り口には指紋認証によるセキュリティを設けるなど、時代の要請に対応した寮に生まれ変わりました。

平成24年度にはほかにも小白川及び米沢キャンパスの総合研究棟、飯田キャンパス体育館の整備を完了し、さらに飯田キャンパスの総合研究棟を現在再整備中です。

学生がより快適で安全・安心なキャンパスライフを送れるように、山形大学はキャンパスアメニティの充実に努めていきます。

## 手厚いキャリアサポートプログラム ～キャリア教育から就職支援まで～

学生の将来のために、いかにその大学生活を充実したものにすることができるか。山形大学では充実した就職支援に加え、学生の入学時からキャリア教育の授業科目を設け、早期から将来や進路を考えるきっかけ作りに努めています。

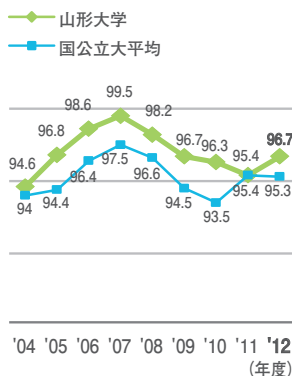
平成24年度からスタートした基盤教育科目「キャリアデザイン」では、自己理解を深めた上で、社会全体に目を向け就業観・職業観を養うことで、本学が掲げる人生を強く豊かに生きていくための「人間力」を高め、早期から自分の将来について考え、進路決定できる力を身につけることを目的にしています。

講義を担当する小白川キャンパスキャリアサポートセンターの松坂暢浩准教授は、平成25年度の基盤教育ベストティーチャー賞を受賞。自身の実社会での経験を生かした学生主体型の講義内容に、前後期で延べ330人余りの履修生が高い満足度を示したことが受賞につながりました。

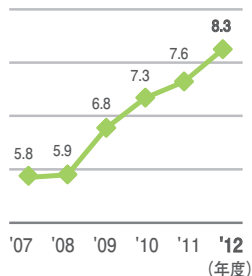
就職支援の場面においては、学生ボランティアが努めるキャリアサポーターが就活セミナーの企画・運営やエントリーシート添削などの就活支援活動の一端を担うことで、学生による学生視点での就職支援に取り組んでいるのも特徴です。

このような取り組みもあり、平成25年3月卒業生の就職率は96.7%となっており、国公立大学の平均水準を上回る数値となっています。

就職率(%)



授業料免除率(%)



※東日本大震災による被災学生に係る授業料免除で、運営費交付金により措置された分について、'11は136百万円を、'12は103百万円を除いています。

## 奨学金制度の充実

「何よりも学生を大切に作る大学」を目指して、山形大学は学生の就学支援にも力を入れており、本学独自の様々な奨学金制度を設けています。

平成20年度にスタートした「YU Do Best奨学金」は、学生が存分に勉学に励み、生活できる教育・研究環境を整備するために創設された本学独自の奨学制度です。

また、「山形大学学生支援基金奨学金」として、経済的な理由により一時的に学費の納付等が困難な学生に対して、奨学金を無利息で貸与する制度により、学業の援助を図っています。

さらに、東日本大震災により被災した学生への支援策として、特別枠での授業料・入学金免除を引き続き実施しています。

本学では、社会情勢や経済情勢など状況に応じて柔軟な学生支援に努めてまいります。

(参考)

### 本学独自の主な奨学金制度

#### 「YU Do Best 奨学金」

学部3年生(医学部医学科は5年生)を対象。返還義務のない給付奨学金(月額3万円)を2年間給付  
「山澤進奨学金」～山形俊才育成プロジェクト～

返還義務のない給付奨学金(月額5万円)に加えて、本学では受給者の入学金・授業料を全額免除  
→ 4年間で総額約480万円(医学部医学科の場合、6年間で総額約710万円)

#### 「エリアキャンパスもがみ土田秀也奨学金」

山形県最上地区の学生を対象。返還義務のない給付奨学金(月額4万円)に加えて、本学では受給者の入学金・授業料を全額免除  
→ 4年間で総額約434万円(医学部医学科の場合、6年間で総額約637万円)

#### 「学生支援基金奨学金」

授業料等の支払いが一時的に困難な学生に、使途が学費納付の場合は上限30万円まで、生活費補填の場合は上限20万円まで貸与

## 大崎教授の海外駐在記 ～国際交流への取組～

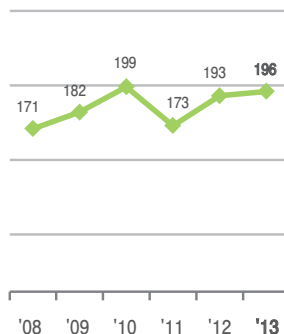
本学では、国際社会との連携促進のため、平成22年度に「山形大学グローバル化のための基本方針」を策定しており、この方針に基づいて留学生の受入を促進するなど、大学の国際化に努めています。平成24年度は新たにアジア、ヨーロッパ及び南米の11大学との大学間交流協定、イタリアの大学との学部間交流協定を締結し、大学間交流協定は25ヶ国57機関、学部間交流協定は22ヶ国78機関となりました。外国人留学生については、平成25年5月1日現在、28の国と地域から196人が在籍しており、山形大学で学んでいます。一方、山形大学から海外に派遣している学生は、6ヶ国11人となっています。

山形大学では、グローバルな学生交流、研究交流の拠点として、学術交流協定を締結しているハノイ農業大学（ベトナム）、延辺大学（中国）、ジョモケニア工科大学（ケニア）、カトリカ大学（ペルー）、ガジャマダ大学（インドネシア）、ラトビア大学（ラトビア）及びヨーロッパ原子核研究機構（CERN：スイス）にサテライトオフィスを設置しています。その中で大学海外サテライトオフィスや学術交流協定校に数ヶ月単位で駐在し、本学の情報発信や、現地と本学の学生・教員の交流や共同研究等のサポートを行っているのが、渉外課の国際交流担当教授、大崎直太先生です。

大崎教授は、サテライトが所在する協定大学で日本語クラスを開講、山形大学の学生を日本語チューターとして現地に招き、クラスの指導・運営を任せることで、グローバル化時代に適応するための経験の場を与えています。同時に、現地の受講生にも日本語を学ぶ機会、日本を知る機会、山形大学への留学情報を提供しています。また、本学学生の異文化の理解及び留学への動機付けをはかる目的で、協定大学への短期派遣プログラムを実施しています。

本学ホームページでは、「大崎教授の海外駐在記」を公開しており、駐在先の文化や学生・教職員との交流などについて詳細に記しています。ほかに、日本語クラス派遣チューターや短期派遣プログラムに参加した学生の報告文も掲載しており、現地での活動をより身近に感じられる内容となっております。

留学生数（人）  
（各年5月1日現在）



※'11は東日本大震災の影響により減少しています。

「大崎教授の海外駐在記」  
詳細については、山形大学  
ホームページ右下のバナー



よりお入りください。  
(<http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/you/modules/common14/index.php?id=59>)

左端が大崎直太教授（ハノイ農業大学にて）



日本語クラスの様子

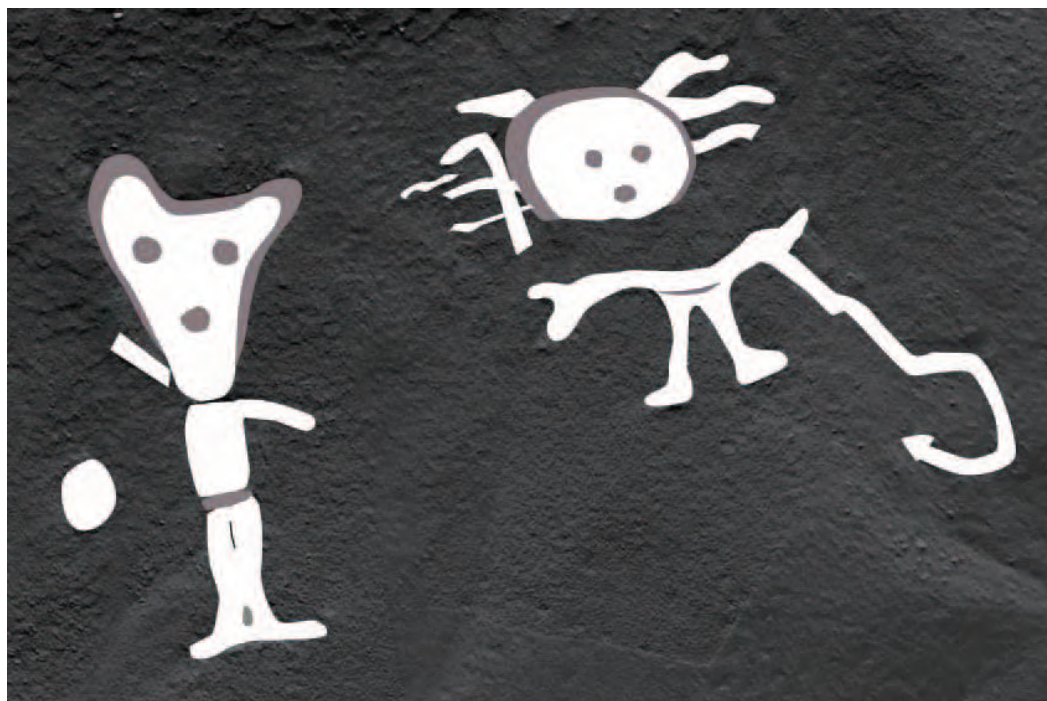




## > 研究







左頁：ナスカ文化の宗教的拠点とされる、カワチ遺跡を3Dレーザースキャナで計測する人文学部ナスカ研究チームのスタッフ。

右頁：平成25年4月に発表した、新発見の地上絵。上記の3Dレーザースキャナや、高精度の衛星画像など最新のテクノロジーが生み出した成果と言える。

## 山形大学先進的研究拠点(YU-COE)の形成

平成25年4月12日、山形大学人文学部附属ナスカ研究所は、新たな地上絵を発見したことを発表、マスコミで全国的に取り上げられ話題となりました。

今回発見した地上絵は2人の人物を組み合わせて儀礼行為の場面を表している可能性があり、既存のものとは異なるタイプのものです。今後引き続き調査を進めることで、地上絵の内容や描かれた目的などについてさらなる謎の解明が期待されます。

山形大学は、国際的に通用する高い水準にあると認められる研究目的拠点や、その研究成果により社会、とりわけ地域に大きく貢献すると認められる研究拠点について重点的に支援するとともに、将来そのような拠点となり得る学内の研究グループを発掘し、育成することを目的として本学独自の研究支援制度を行っています。

平成21年度にスタートしたこの制度は、現在、大型の競争的資金を獲得するなど、外部からすでに拠点として認められているものについてYU-COE (S) [S=Super] として継続的に支援するとともに、将来、国内外の先進的研究拠点となる可能性を有すると認められる研究グループについて、YU-COE (E) [E=Exploratory] として14拠点を選定し、支援を行っています。

### YU-COE (S)

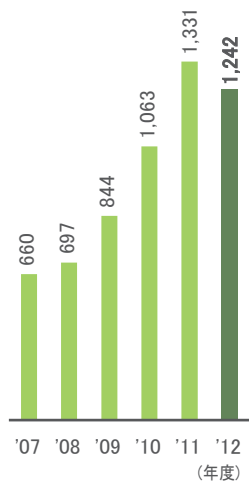
|   | 研究拠点       | 拠点リーダー               |
|---|------------|----------------------|
| 1 | 総合スピニング科学  | 理学部・教授 岩田高広          |
| 2 | 分子疫学       | 医学部・教授 嘉山孝正          |
| 3 | 有機エレクトロニクス | 大学院理工学研究科<br>教授 大場好弘 |
| 4 | 山形大学ナスカ研究所 | 人文学部・教授 坂井正人         |

### YU-COE (E)

|    | 形成しようとする研究拠点                                                               | 拠点リーダー                |
|----|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1  | 低炭素社会をリードする地域型天然ゴム資源活用センター                                                 | 理学部・講師 大谷典正           |
| 2  | 神経難病の根本的治療法開発のための基礎研究拠点                                                    | 医学部・教授 加藤文夫           |
| 3  | イノベーションと持続的発展を指向するグリーンマテリアルプロセッシング工学研究拠点～グリーンマテリアル加工研究センター～                | 大学院理工学研究科<br>教授 伊藤浩志  |
| 4  | 21世紀における自然共生型水稲栽培のアジア学術拠点形成                                                | 農学部・准教授 佐藤智           |
| 5  | 偏光をプローブとした高エネルギー天文学の創成拠点                                                   | 理学部・教授 郡司修一           |
| 6  | ZT5 高性能熱電材料研究拠点形成                                                          | 理学部・教授 佐々木実           |
| 7  | パラオ諸島の生物多様性に関する教育研究拠点形成                                                    | 理学部・教授 半澤直人           |
| 8  | 臨床医学の要求に基づく生体機能修復医工学研究拠点                                                   | 大学院理工学研究科<br>教授 山本修   |
| 9  | 微生物を利用した有機汚染物質の無害化研究の活性化産学連携拠点                                             | 大学院理工学研究科<br>教授 原富次郎  |
| 10 | モデルベースイノベーション研究拠点                                                          | 大学院理工学研究科<br>准教授 松田圭悟 |
| 11 | 山形大学高度生殖テクノロジーイノベーション拠点                                                    | 大学院理工学研究科<br>教授 阿部宏之  |
| 12 | 分子標的抗癌剤による薬剤性肺障害研究拠点                                                       | 医学部・教授 久保田功           |
| 13 | 次世代バイオマス分子資源開発センター                                                         | 大学院理工学研究科<br>教授 西岡昭博  |
| 14 | ライフ・3Dプリンタ創成センター<br>Life-3D Printing Innovation Center<br>(略称 LPIC: エルピック) | 大学院理工学研究科<br>教授 古川英光  |

## 分子疫学研究の拠点形成を目指して

受託・共同研究費(百万円)



山形大学医学部では、世界屈指の大規模地域住民コホートである山形全県ゲノムコホートを基盤に21世紀COE、グローバルCOEプログラム（以下、「GCOE」）を通じて分子疫学研究に取り組んでまいりました。

平成24年11月15日、山形大学医学部と国立がん研究センターの共同研究チームは、糖尿病の治療薬「メトホルミン」に、悪性脳腫瘍の中でも最も治療困難とされる「グリオブラストーマ」のがん細胞増殖を抑制する効果があることを発見したと発表しました。「メトホルミン」は、がん細胞の中でも分裂して腫瘍を形成し再発・転移の原因となる「がん幹細胞」の性質を、腫瘍を形成しないがん細胞に変化させるため、手術や放射線治療と組み合わせることで根治が期待されます。また、すでに承認されている薬のため、通常よりも短時間で実用化できる可能性があります。

本研究は、GCOEの成果として挙げられます。GCOEは、平成24年度で終了しましたが、今後は、平成25年4月に立ち上げた「医学部メディカルサイエンス推進研究所」が、「山形県コホート研究（Yamagata Study）」として、世界的規模の20万人を対象とした分子疫学研究の持続的展開を行うとともに、その水準の向上とさらなる発展を目指します。

## 医学部 がん研究への取り組み

東北地域のがん医療のさらなる高度化を目的として山形大学が現在導入を目指しているのが、重粒子線がん治療です。重粒子線がん治療とは、体外から光速の70%程度まで加速させた炭素イオン線を照射して、がん細胞の遺伝子を破壊する放射線がん治療です。従来のX線・ガンマ線よりも優れた“がん”遺伝子の殺傷能力と線量集中性により、患者の身体的な負担が少なく極めて短期間で社会復帰が可能です。山形大学は、北海道・東北地区で初めての導入を目指しているところですが、平成24年度補正予算にて、その研究開発費として約10億円が盛り込まれ、実現への大きな一歩を踏み出すことになりました。

今回の予算で行うプロジェクトは、現在、大量の電力を必要とする重粒子線がん治療装置について、従来のものより電力消費を低く抑えることを目的とした電磁石や電源の開発を中心に民間企業と共同で研究・開発するというものであり、東北全域における患者さんの利便性を考慮した広域的な有効利用のためのネットワークシステムの構築もあわせて取り組みます。

また、平成25年度には、製薬企業と共同で革新的ながんの予防・診断・治療法開発を行うためのプラットフォームとなる「がん研究センター」の開設を予定しております。

今後、高齢化が益々進み、がんに罹患する患者が更に増えることが予想されます。国民病であるがんの治療のため、医学部の知を集結し、がん研究に取り組んでまいります。





安達峰一郎博士



「アウシュビッツの体験と人権の擁護」について講演するトーマス・バーゲンソール氏

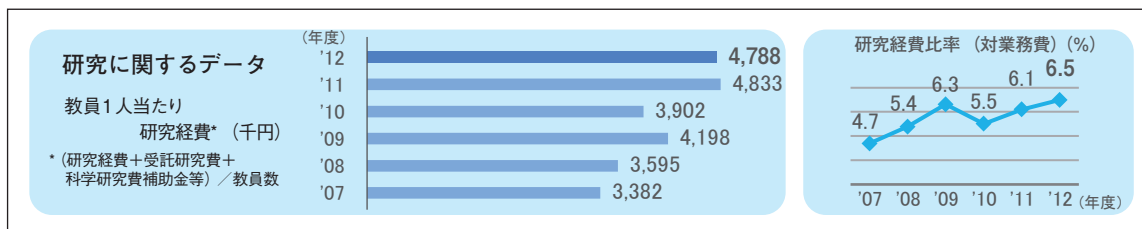
## 故郷の偉人に光を ～安達峰一郎研究プロジェクトが本格始動～

福沢諭吉や新渡戸稲造、日本人なら誰でもその名を知っているかと思いますが、「安達峰一郎」と聞いてピンと来る方はそんなに多くはないのではないのでしょうか。

安達峰一郎博士は山形県山辺町出身。各国の大使や国際連盟における日本代表を歴任した後、常設国際司法裁判所（現在の国際司法裁判所）の所長を務めました。当時、日露戦争後から第二次世界大戦前という激動の時代、その中において国際紛争の解決に生涯をささげた安達博士は「世界の良心」と謳われ、死去に際しては常設国際司法裁判所が所在するオランダにて国葬が営まれました。

山形大学ではかねてから、都市・地域学研究所の主催で安達峰一郎博士に関するシンポジウムを開催したり、全国の中高生を対象に、安達博士の平和精神を受け継ぎ、世界に発信する「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」を、安達博士の故郷である山辺町と共催してきましたが、平成24年11月、安達博士が活躍した第一次世界大戦以後の戦間期の外交史及び国際政治史並びに当時の国際法学を総合的に研究し、その中に安達博士を位置づけ、安達博士の業績を明らかにすることを目的として、国内のトップクラスの研究者を招集し、本格的な研究を開始しました。国際司法裁判所判事（前所長）の小和田恆氏から総括的な指導をいただきながら、平成28年度末をめどに研究書の完成を目指します。

平成25年9月6日（金）には、本学の小白川キャンパスに元国際司法裁判所判事のトーマス・バーゲンソール氏と小和田氏を迎え、講演会「国際法と人権」を開催。附属中学校3年生約160名を含む270名の学生や一般市民が参加、活発な質疑応答もあり、関心の高さがうかがわれました。



## > 産学官の連携



### 有機エレクトロニクスイノベーションセンター開所

有機エレクトロニクスは、軽くて曲がるフィルム状の照明・太陽電池・ディスプレイの生産を可能にし、同時に省エネであるという特徴を有した次世代の技術です。世界が注目し、開発競争が激化しているこの分野で、山形大学は世界をリードし続けています。

平成23年、山形大学は有機EL、有機太陽電池、有機トランジスタの基礎研究部門が結集した、世界でも例を見ない先端研究拠点として、有機エレクトロニクス研究センターを工学部に開設しました。その研究成果を実用段階へと展開させる拠点として平成25年4月、米沢市オフィスアルカディアに新たに開所したのが「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」です。

有機エレクトロニクスイノベーションセンターは「夢からビジネスへ」をキャッチフレーズに、有機エレクトロニクス研究センターにて培われた世界トップレベルの基礎研究技術を、産学官の連携のもとに量産・ビジネスにつなげる応用・実証研究の拠

トムソン・ロイター  
高被引用論文数  
(国内：材料科学分野)

|   |        |    |
|---|--------|----|
| 1 | 東京大学   | 37 |
| 2 | 東北大学   | 27 |
| 3 | 京都大学   | 14 |
| 3 | 大阪大学   | 14 |
| 5 | 山形大学   | 13 |
| 6 | 東京工業大学 | 10 |

(出典:週刊朝日  
「大学ランキング 2014年版」)



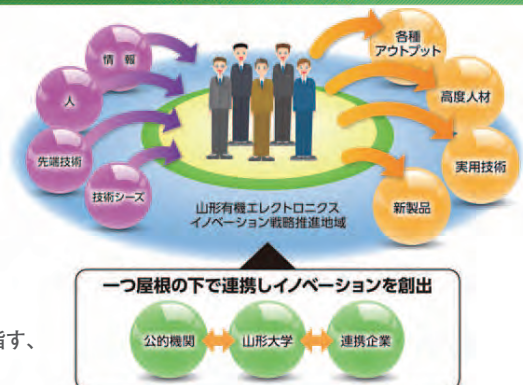


点であり、2階建で延べ床面積4,367㎡のセンターには、1,200㎡のクリーンルームに高精度インクジェット装置、スクリーン印刷装置、クラスター型蒸着装置などの最先端設備を備えるほか、企業派遣者がレンタルし常駐できるインキュベーション室を設置しました。民間企業出身者を中心とした「スーパーイノベーター」が核となり、企業のニーズに応じた製品の実用化に取り組みます。

また、リチウムイオン電池の長寿命・低コスト化を狙う蓄電デバイス分野については、イノベーションセンターに近接した場所に「蓄電デバイス開発研究センター」を建設しており、平成25年秋に完成予定です。

研究関連設備の充実化を図りながら、山形大学は世界一の有機エレクトロニクス研究拠点の形成を目指します。

「拠点」機能・「技術の橋渡し」機能



有機エレクトロニクスイノベーションセンターが目指す、「拠点」機能・「技術の橋渡し」機能のイメージ

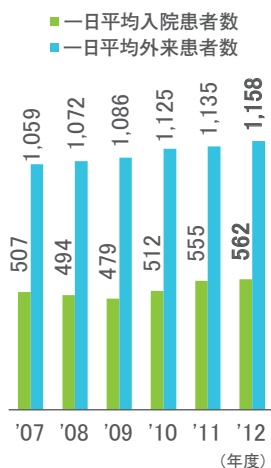


## > 地域とのかかわり



### 最先端の医療を提供～医学部附属病院～

附属病院患者数推移



山形大学医学部附属病院が地域の皆様により高度な医療の提供をするために平成17年度から開始した再整備計画は、平成23年5月をもって病棟部分の改修が終了し、現在は外来・中央診療棟の改修を進めております。その間、急性期医療及び高度医療の推進（手術部、救急部、ICU・HCU等の充実）、診療スペースの改善、外来がん化学療法室の整備拡充、術中MRIや最新鋭のがん関連医療機器であるリニアック（IMRT）、PET/CT及び手術支援ロボット「ダヴィンチ・サージカルシステム」など、最先端の医療を提供するための設備整備についても併せておこなってまいりました。

再整備において附属病院が重視しているコンセプトは、診療科の境界を越えて、医療の様々な部門が患者の治療のために協力できる環境づくりです。一例を挙げると、再整備後の病棟は、循環器病センター、呼吸器病センター、周産母子センター、脳卒中センターと、診療科別ではなく臓器（疾病）別に構成されています。また、ソフト面においても、がん患者の治療にあたる内科医、外科医に加えて放射線治療、化学療法の専門医らが一堂に会し、症例に応じて最適な医療を検討・提案する山形大学方式キャンサートリートメントボード（がん治療会議）を実施しております。毎年、5,000名超の医師、看護師等が参加し、診療科間の連携により診療水準の高度化に貢献しているシステムのひとつとなっております。

附属病院の理念である「人間性豊かな信頼の医療」の実現のため、ハード面・ソフト面の双方について、今後も不断の改善に努めてまいります。

## 「山形文化遺産防災ネットワーク」に文化庁長官が感謝状授与 ～被災した文化遺産のレスキュー作業を通じた被災地支援～

東北に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生してから、2年半が経過しました。しかし、復興への道のりは、未だ遥かに続いているといわざるを得ないのが現状です。その中で、山形大学及びその学生、教職員は、様々な形で被災地の支援を続けています。

「山形文化遺産防災ネットワーク」（通称「山形ネット」）は、地域に残る文化遺産を災害から守り、未来へ伝承することを目的として2008年に設立されたボランティア団体であり、本学の教職員や学生有志もメンバーとしてこの活動に参加しています。この「山形ネット」では震災以降、岩手県、宮城県の被災文化資料を引き受け、津波でかぶった泥などの除去作業を継続的に行っています。こうした取組が認められ、平成25年3月25日、山形ネットなど文化財レスキューに参加した団体・個人は、文化庁長官から感謝状を授与されました。

また、文化財レスキュー活動は、それまで注目されていなかった被災地の業績に脚光をもたらすこととなりました。地元陸前高田出身の「博物学の巨人」こと鳥羽源蔵は、在野の研究者であり知る人ぞ知る存在でしたが、被災した数万点の資料を救出・修復する過程で、その業績が認知されることとなりました。

平成25年1月11日には、本学にて人文学部主催の講演会「博物学の巨人・鳥羽源蔵が遺したもの」が開催されました。上記のことがきっかけで開催されたこの講演会は、鳥羽博士の業績や文化財レスキュー活動の紹介を通じて、地域の学術文化を守る

ことの意味を考える貴重な機会となりました。



左上、左下：資料修復の作業風景

下：講演会「博物学の巨人・鳥羽源蔵が遺したもの」の様子





## 山形大学農場フェスティバル開催！

平成25年9月28日（土）、農学部の高坂農場にて「山大農場フェスティバル～月山を背にロックを聴きながら農場を味わおう～」を開催しました。

これは、昨年度初めて実施した「山形大学農場新米ロックフェスティバル」をリニューアルして開催したもので、前回と同様に庄内2市3町で形成する山形大学農学部地域産学官連携協議会から支援をいただき実施しているものです。日頃お世話になっている地域の皆様に広大な農場で音楽を聴きながら自由に過ごしていただくと共に農場活動の一端を紹介させていただくことを目的とした農場一般開放イベントです。

当日は清々しい秋晴れの行楽日和となり、開演前から渋滞ができるほど車が押し寄せ、予想以上の来場者となりました。

午前10時30分にスタートすると、あっという間に地域特産物の販売ブースや山大農場市、新米無料炊き出しコーナーに長蛇の列ができ大盛況となりました。月山を背にしたライブステージからはバンド音楽が響き渡り、トレーラーの荷台に乗って圃場をめぐる農場ツアー！や農機ショー！、脱穀したてのご飯を食べよう！では、見て触って農業を体感できる農場ならではの企画に大喜びではしゃぐ様子が見られました。そのほか、農場で飼育している動物達との触れ合いコーナーや、木工コースター作り、ボルダリング体験などでは親子連れで写真を撮ったりして楽しんでいました。

このたびの入場者数は1100名を超え、地域の多くの方々に高坂農場を紹介することができました。今後も農学部では、地元に根ざした大学として、地域のみなさんとの交流を大事にしていきたいと思っています。



山形大学ではこのようなイベントをはじめ、公開講座など、一般の皆様にも参加していただける催しを行っています。

詳細については、山形大学ホームページ下部の「イベント」をご参照ください。（<http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/you/modules/bulletin2/>）







達成率…**82%**  
(158プラン中130プランを達成)



達成率…**88%**  
(58プラン中51プランを達成)



達成率…**83%**  
(63プラン中52プランを達成)

※未達成の課題は、継続検討課題として翌年の結城プランに盛り込まれています。

## > 経営

### 結城プラン2013

平成20年1月、山形大学が「何よりも学生を大切にして、学生が主役となる大学創りをする」ために取り組むべき課題と目標をとりまとめた「結城プラン2008」が策定されました。挙げられた158のプランについて取組状況の検証を行った結果、82%を達成し、継続検討となった課題は翌年の「結城プラン2009」へと引き継がれました。

このような形で、改革と検証の不断のサイクルを続けてきた「結城プラン」も、「2013」で6回目となり、「2012」からの継続課題も含め、本学が今取り組むべき72の課題とその達成目標を明示しています。

学長・理事をはじめ全教職員が力を合わせ、心をつなげて、山形大学が地域・社会から求められるミッションを実現していくための機能を強化できるように、また東日本大震災からの復興と新しい東北の創生に貢献していけるように、プランの実現に努力してまいります。

注目する学長がいる  
大学ランキング  
(学長からの評価)

|   |         |
|---|---------|
| 1 | 国際教養大学  |
| 2 | 金沢工業大学  |
| 3 | 京都大学    |
| 4 | 慶應義塾大学  |
| 5 | 東京大学    |
| 6 | 国際基督教大学 |
| 7 | 山形大学    |

(出典:週刊朝日  
「大学ランキング 2014年版」)

達成率…**87%**  
(63プラン中55プランを達成)

国立大学法人  
山形大学  
結城プラン2011

学生が主役の大学創り



達成率…**85%**  
(65プラン中55プランを達成)



国立大学法人  
山形大学  
結城プラン2012

Yamagata University Keeps Innovation Plan 2012

「2012」継続検討となった事項への再  
チャレンジを含め、72のプランを策定

### 結城プラン2013

Yamagata University Keeps Innovation Plan 2013



# 役 員

(平成 25 年 11 月 1 日現在)



結城 章夫  
学長



小山 清人  
理事(教育、学生支援担当)



北野 通世  
理事(総務、入試担当)



深尾 彰  
理事(研究、評価、医療担当)



安田 弘法  
理事(社会連携、国際交流担当)



柴崎 孝  
理事(財務、施設担当)

監事

斎藤 亮一  
三浦 正昭





# Yamagata University Financial Review 2013

平成24事業年度（2012/4－2013/3）

## > Contents

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ファイナンシャルレビュー .....           | 21 |
| 財務指標.....                    | 22 |
| 貸借対照表.....                   | 23 |
| 損益計算書.....                   | 24 |
| 利益の処分及び損失の処理に<br>関する書類 ..... | 24 |
| キャッシュ・フロー計算書 .....           | 25 |
| 業務実施コスト計算書 .....             | 26 |
| 収支決算書.....                   | 26 |
| 国立大学法人会計の仕組み.....            | 27 |
| 概要.....                      | 28 |



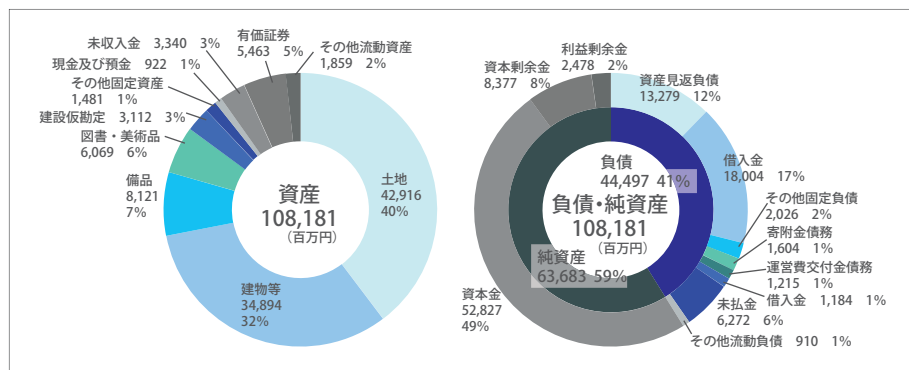
## > ファイナンシャルレビュー

### 1. 貸借対照表

・平成24年度は、補助金の獲得による有機エレクトロニクスイノベーションセンターの新設や施設整備費補助金による工学部7号館、医学部総合研究棟の改修、附属病院再整備事業に伴う借入金による外来棟・中央診療施設棟の整備を行いました。

・また、施設・設備の整備により固定資産を取得したことの見合いで資産見返負債や資本剰余金が増加しています。

・これらの結果、資産・負債・純資産がともに増加することとなりました。



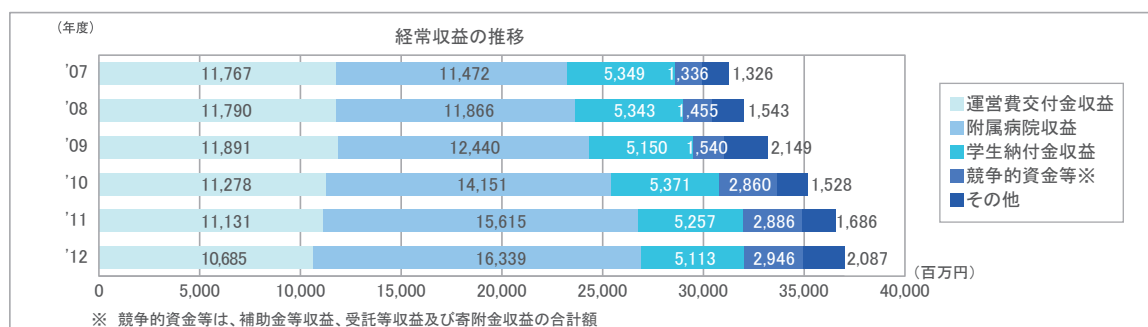
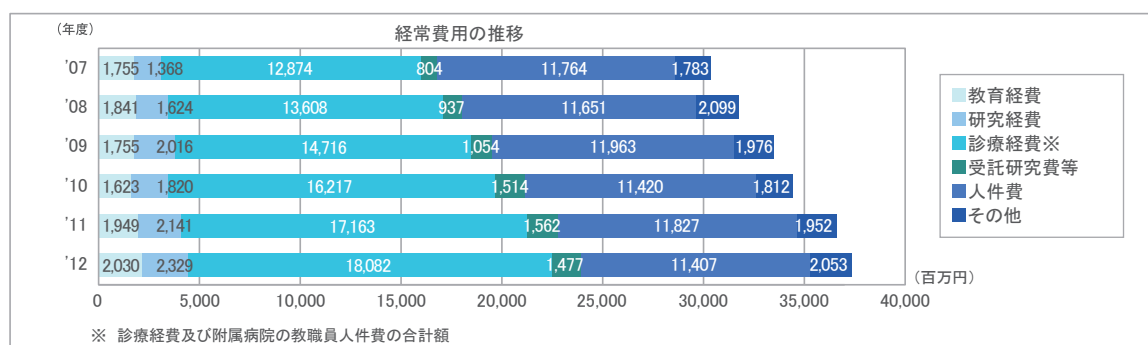
### 2. 損益計算書

・平成24年度は、附属病院において、手術件数や外来患者・入院患者数の増、外来化学療法実施件数の増加などにより増収を図りました。

・一方で、費用については、附属病院の患者数等の増加に伴う診療材料費の増加、そのほか、建物の建設及び改修に伴う臨時的支出が増加しています。

・この結果、経常ベースで約208百万円の損失となりました。

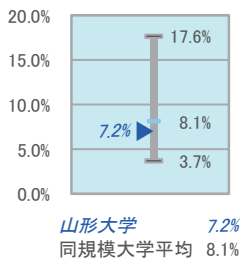
・今後、附属病院再整備事業を着実に進め、積極的に外部資金の獲得に努めるなどさらなる自己収入の確保に努めるとともに、大学全体の経費の抑制に向けた取組を進めていきます。



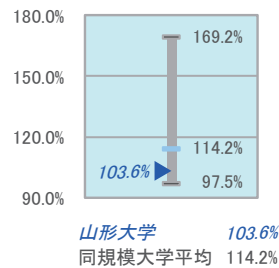


## > 財務指標

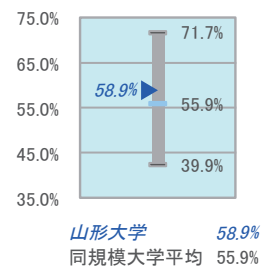
長期借入金返済比率 (対附属病院収入) ▼ 《健全性》



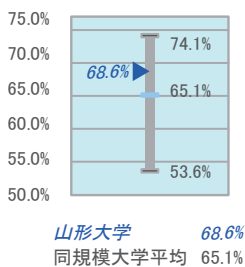
流動比率△ 《健全性》



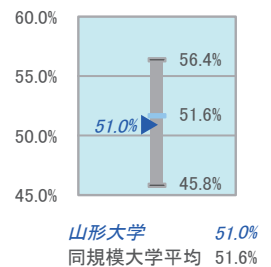
自己資本比率△ 《健全性》



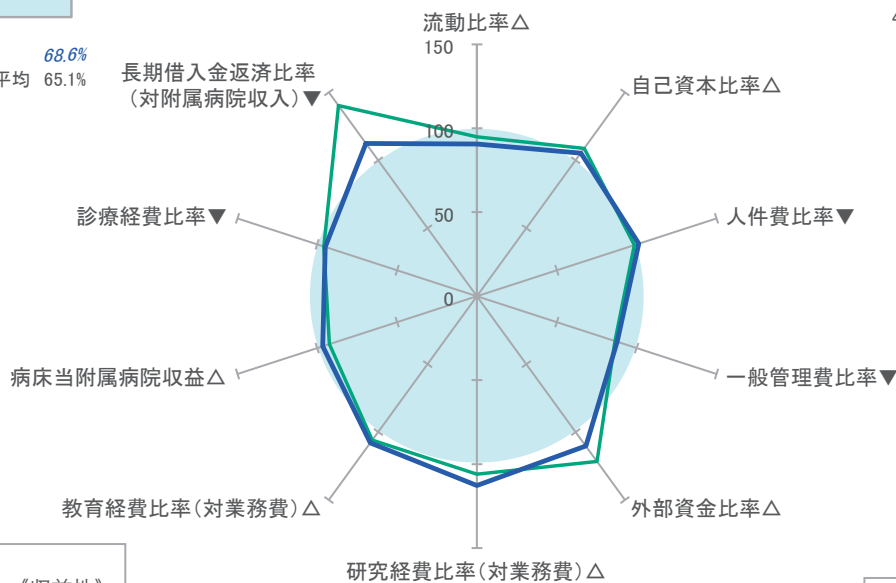
診療経費比率 ▼ 《収益性》



人件費比率 ▼ 《効率性》



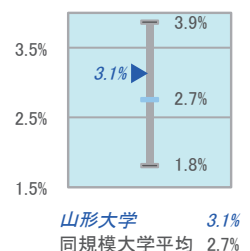
山形大学の財政状況  
(主要な財務指標の同規模大学平均に対する割合)



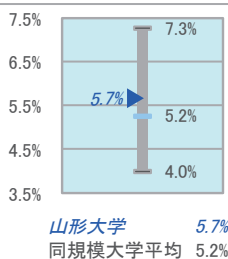
病床当たり  
附属病院収益△ 《収益性》  
(千円)



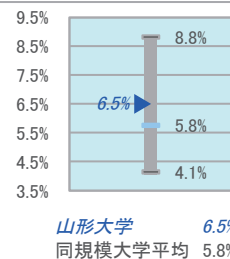
一般管理費比率 ▼ 《効率性》



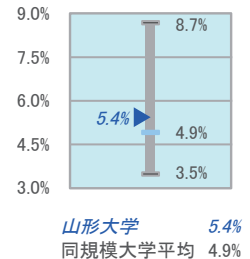
教育経費比率 (対業務費) △ 《活動性》



研究経費比率 (対業務費) △ 《活動性》



外部資金比率△ 《活動性》



・活動性や附属病院の収益性の面について改善を図っていますが、同規模大学と比較すると、効率性の面で依然として改善の余地があります。

・同規模大学と比較して健全な財政状況にあります。

※レーダーチャートは、外側に表示されているほど、良好な状況であることを示しています。  
( '13/3 の同規模大学を100とし、▼少ない(低い)方が望ましい指標については、逆数で表示しています )

## >貸借対照表

(百万円)

|                        | '08/3 (H20/3) | '09/3 (H21/3) | '10/3 (H22/3) | '11/3 (H23/3) | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3) | 増減 (前年比) |
|------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|
| <b>資産の部</b>            |               |               |               |               |               |               |          |
| <b>有形固定資産</b>          |               |               |               |               |               |               |          |
| 土地                     | 42,905        | 42,905        | 42,929        | 42,929        | 42,929        | 42,916        | △ 12     |
| 建物等                    | ※1 20,662     | 26,107        | 26,742        | 31,657        | 32,852        | 34,894        | 2,041    |
| 備品                     | 3,355         | 5,132         | 7,970         | 7,380         | 8,452         | 8,121         | △ 331    |
| 図書・美術品                 | 5,935         | 6,011         | 6,066         | 6,117         | 6,154         | 6,069         | △ 84     |
| 建設仮勘定                  | ※2 6,323      | 943           | 3,900         | 970           | 944           | 3,112         | 2,168    |
| その他                    | 17            | 15            | 7             | 30            | 28            | 26            | △ 1      |
| <b>無形固定資産</b>          |               |               |               |               |               |               |          |
| 特許権・ソフトウェア等            | 27            | 18            | 115           | 105           | 147           | 157           | 9        |
| <b>投資その他の資産</b>        |               |               |               |               |               |               |          |
| 投資有価証券                 | 813           | 820           | 634           | 335           | 1,165         | 854           | △ 310    |
| その他                    | 211           | 204           | 205           | 219           | 231           | 442           | 210      |
| <b>流動資産</b>            |               |               |               |               |               |               |          |
| 現金及び預金                 | 2,930         | 7,355         | 733           | 1,102         | 1,302         | 922           | △ 380    |
| 未収入金<br>(学生納付金収入・病院収入) | 2,194         | 2,580         | 2,736         | 2,862         | 3,033         | 3,340         | 306      |
| 有価証券                   | 5,999         | 1,000         | 8,899         | 5,850         | 5,600         | 5,463         | △ 136    |
| その他                    | ※3 197        | 235           | 333           | 527           | 725           | 1,859         | 1,133    |
|                        | 91,573        | 93,330        | 101,275       | 100,090       | 103,568       | 108,181       | 4,612    |
| <b>負債の部</b>            |               |               |               |               |               |               |          |
| <b>固定負債</b>            |               |               |               |               |               |               |          |
| 資産見返負債                 | ※4 8,315      | 8,129         | 10,745        | 10,454        | 10,911        | 13,279        | 2,367    |
| 借入金                    | 11,972        | 12,596        | 14,463        | 16,476        | 17,895        | 18,004        | 108      |
| その他                    | 801           | 1,277         | 1,047         | 1,016         | 1,906         | 2,026         | 119      |
| <b>流動負債</b>            |               |               |               |               |               |               |          |
| 運営費交付金債務               | 1,123         | 1,207         | -             | 527           | 1,062         | 1,215         | 153      |
| 寄附金債務                  | 1,396         | 1,398         | 1,545         | 1,380         | 1,494         | 1,604         | 109      |
| 借入金                    | 699           | 888           | 834           | 890           | 1,153         | 1,184         | 30       |
| 未払金                    | ※5 6,536      | 6,511         | 8,928         | 5,243         | 5,328         | 6,272         | 943      |
| その他                    | 827           | 748           | 626           | 869           | 807           | 910           | 103      |
|                        | 31,671        | 32,758        | 38,191        | 36,859        | 40,561        | 44,497        | 3,936    |
| <b>純資産の部</b>           |               |               |               |               |               |               |          |
| <b>資本金</b>             | 52,827        | 52,827        | 52,827        | 52,827        | 52,827        | 52,827        | -        |
| <b>資本剰余金</b>           | ※6 3,403      | 4,034         | 6,365         | 6,929         | 6,725         | 8,377         | 1,652    |
| <b>利益剰余金</b>           |               |               |               |               |               |               |          |
| 前中期目標期間繰越積立金           | -             | -             | -             | 2,756         | 2,756         | 2,737         | △ 19     |
| 目的積立金                  | 547           | 746           | -             | -             | 717           | 91            | △ 625    |
| 積立金                    | 2,002         | 2,543         | 2,916         | -             | -             | -             | -        |
| 当期末処分利益                | 1,121         | 419           | 975           | 717           | △ 19          | △ 350         | △ 331    |
|                        | 59,902        | 60,571        | 63,084        | 63,231        | 63,007        | 63,683        | 676      |

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

上記表示の科目は、財務諸表の科目を一部集約し表示しています。

(※1) 主な増加要因は、災害復旧事業や有機エレクトロニクスイノベーションセンターの建設等によるものです。

(※2) 主な増加要因は、病院再整備事業及び医学部総合研究棟の改修によるものです。

(※3) 主な増加要因は、有機エレクトロニクスイノベーションセンター建設事業の補助金未収入金が増加したことによるものです。

(※4) 主な増加要因は、有機エレクトロニクスイノベーションセンターの建設等による取得資産の増加によるものです。

(※5) 主な増加要因は、病院再整備事業及び医学部総合研究棟の改修によるものです。

(※6) 主な増加要因は、災害復旧事業や小白川地区の総合研究棟改修による取得資産が増加したことによるものです。



## >損益計算書

| (百万円)           |               |               |               |               |               |               |          |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|
|                 | '08/3 (H20/3) | '09/3 (H21/3) | '10/3 (H22/3) | '11/3 (H23/3) | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3) | 増減 (前年比) |
| <b>経常費用</b>     |               |               |               |               |               |               |          |
| 業務費             | 29,144        | 30,159        | 31,965        | 33,057        | 35,102        | 35,875        | 772      |
| 教育経費            | 1,755         | 1,841         | 1,755         | 1,623         | 1,949         | 2,030         | 81       |
| 研究経費            | 1,368         | 1,624         | 2,016         | 1,820         | 2,141         | 2,329         | 187      |
| 診療経費 ※1         | 6,965         | 7,659         | 8,765         | 9,949         | 10,593        | 11,202        | 609      |
| 教育研究支援経費        | 577           | 497           | 458           | 460           | 457           | 547           | 90       |
| 受託研究費等          | 804           | 937           | 1,054         | 1,514         | 1,562         | 1,477         | △ 84     |
| 人件費             | 17,672        | 17,600        | 17,914        | 17,688        | 18,398        | 18,286        | △ 111    |
| 一般管理費           | 895           | 1,275         | 1,187         | 1,006         | 1,116         | 1,122         | 6        |
| その他             | 310           | 327           | 330           | 345           | 378           | 382           | 4        |
|                 | 30,350        | 31,762        | 33,483        | 34,408        | 36,597        | 37,380        | 783      |
| <b>経常収益</b>     |               |               |               |               |               |               |          |
| 運営費交付金収益 ※2     | 11,767        | 11,790        | 11,891        | 11,278        | 11,131        | 10,685        | △ 445    |
| 授業料等収益          | 5,349         | 5,343         | 5,150         | 5,371         | 5,257         | 5,113         | △ 144    |
| 附属病院収益 ※3       | 11,472        | 11,866        | 12,440        | 14,151        | 15,615        | 16,339        | 724      |
| 受託等収益           | 807           | 940           | 1,057         | 1,528         | 1,580         | 1,479         | △ 101    |
| 寄附金収益           | 529           | 514           | 482           | 540           | 605           | 536           | △ 69     |
| その他 ※4          | 1,326         | 1,543         | 2,149         | 2,319         | 2,386         | 3,018         | 631      |
|                 | 31,252        | 31,999        | 33,172        | 35,189        | 36,577        | 37,172        | 594      |
| <b>臨時損失</b> ※5  | 0             | 10            | 48            | 87            | 315           | 598           | 282      |
| <b>臨時利益</b>     | 6             | 15            | 1,183         | 24            | 315           | 389           | 73       |
| <b>当期純利益</b>    | 906           | 241           | 823           | 717           | △ 19          | △ 416         | △ 397    |
| <b>目的積立金取崩額</b> | 214           | 178           | 152           | -             | -             | 66            | 66       |
| <b>当期総利益</b>    | 1,121         | 419           | 975           | 717           | △ 19          | △ 350         | △ 331    |

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

上記表示の科目は、財務諸表の科目を一部集約し表示しています。

(※1) 主な増加要因は、医薬品・診療材料などの材料費、前年度及び今年度購入した病院再整備に係る診療用機器の減価償却費及び診療に関連する業務委託費の増加などによるものです。

(※2) 主な減少要因は、建物等固定資産を取得したこと等に伴う減少によるものです。

(※3) 主な増加要因は、附属病院における手術件数や外来患者・入院患者数の増加、外来化学療法実施件数の増加によるものです。

(※4) 主な増加要因は、補助金の交付額の増加による補助金収益の増及び購入資産の増加による資産見返負債戻入の増によるものです。

(※5) 主な増加要因は、建物等固定資産の除却によるものです。

## >利益の処分及び損失の処理に関する書類

| (百万円)                      |               |               |               |               |               |               |          |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|
|                            | '08/3 (H20/3) | '09/3 (H21/3) | '10/3 (H22/3) | '11/3 (H23/3) | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3) | 増減 (前年比) |
| <b>当期末処分利益 (又は当期末処理損失)</b> |               |               |               |               |               |               |          |
| 当期総利益 (又は当期総損失)            | 1,121         | 419           | 975           | 717           | △ 19          | △ 350         | △ 331    |
| <b>利益処分額 (又は損失処理額)</b>     |               |               |               |               |               |               |          |
| 前中期目標期間繰越積立金               | -             | -             | -             | 2,756         | △ 19          | △ 350         | △ 331    |
| 積立金                        | 541           | 372           | 975           | △ 2,756       | -             | -             | -        |
| 目的積立金                      | 580           | 47            | -             | 717           | -             | -             | -        |
|                            | 1,121         | 419           | 975           | 717           | △ 19          | △ 350         | △ 331    |

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

発生した損失は、文部科学大臣の承認を得た上で、前中期目標期間繰越積立金を取り崩して充当します。

## >キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

|                         | '08/3 (H20/3) | '09/3 (H21/3) | '10/3 (H22/3) | '11/3 (H23/3) | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3) | 増減 (前年比) |
|-------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|
| <b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b> |               |               |               |               |               |               |          |
| 教育研究関連業務支出              | △ 3,232       | △ 3,452       | △ 4,156       | △ 3,496       | △ 3,956       | △ 4,079       | △ 123    |
| 診療関連業務支出                | △ 6,282       | △ 6,624       | △ 7,612       | △ 7,652       | △ 8,821       | △ 8,698       | 123      |
| 人件費支出                   | △ 17,927      | △ 17,628      | △ 17,917      | △ 18,265      | △ 18,640      | △ 18,616      | 24       |
| その他の支出                  | △ 769         | △ 1,171       | △ 1,246       | △ 2,194       | △ 1,114       | △ 1,397       | △ 282    |
| 運営費交付金収入                | 12,281        | 12,052        | 12,276        | 12,153        | 12,277        | 11,804        | △ 473    |
| 授業料等収入                  | 5,295         | 5,235         | 5,194         | 5,196         | 4,978         | 4,921         | △ 56     |
| 附属病院収入                  | 11,296        | 11,482        | 12,252        | 14,062        | 15,438        | 16,028        | 590      |
| 受託・寄附金等収入               | 1,422         | 1,343         | 1,598         | 2,282         | 2,215         | 2,206         | △ 8      |
| その他の収入                  | 574           | 814           | 2,729         | 1,390         | 1,630         | 1,720         | 89       |
| ※                       | 2,658         | 2,052         | 3,117         | 3,476         | 4,007         | 3,890         | △ 116    |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |               |               |               |               |               |               |          |
| 有価証券の取得による支出            | △ 32,200      | △ 44,007      | △ 46,714      | △ 38,103      | △ 40,505      | △ 39,060      | 1,445    |
| 有価証券の償還による収入            | 28,800        | 49,000        | 39,000        | 41,450        | 39,920        | 39,500        | △ 420    |
| 固定資産の取得による支出            | △ 3,640       | △ 4,550       | △ 7,039       | △ 9,432       | △ 5,392       | △ 7,784       | △ 2,391  |
| 固定資産の売却による収入            | 1             | -             | -             | -             | -             | -             | -        |
| その他の支出                  | △ 590         | △ 86          | △ 85          | △ 80          | △ 272         | △ 313         | △ 41     |
| その他の収入                  | 2,197         | 2,129         | 4,156         | 1,905         | 1,520         | 4,452         | 2,931    |
| 利息の受取額                  | 32            | 36            | 21            | 19            | 23            | 28            | 4        |
| ※                       | △ 5,398       | 2,521         | △ 10,661      | △ 4,240       | △ 4,706       | △ 3,177       | 1,528    |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |               |               |               |               |               |               |          |
| 借入れによる収入                | 3,417         | 1,512         | 2,702         | 2,902         | 2,572         | 1,292         | △ 1,279  |
| 借入金の返済による支出             | △ 749         | △ 699         | △ 888         | △ 834         | △ 890         | △ 1,153       | △ 262    |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出    | △ 295         | △ 354         | △ 530         | △ 581         | △ 613         | △ 666         | △ 52     |
| 利息の支払額                  | △ 310         | △ 328         | △ 330         | △ 344         | △ 378         | △ 384         | △ 5      |
| ※                       | 2,060         | 129           | 952           | 1,141         | 689           | △ 910         | △ 1,600  |
| <b>資金増加額</b>            | △ 679         | 4,703         | △ 6,591       | 377           | △ 9           | △ 197         | △ 188    |
| <b>資金期首残高</b>           | 3,229         | 2,550         | 7,253         | 661           | 1,039         | 1,030         | △ 9      |
| <b>資金期末残高</b>           | 2,550         | 7,253         | 661           | 1,039         | 1,030         | 832           | △ 197    |

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

上記表示の科目は、財務諸表の科目を一部集約し表示しています。

(※) 法人としての主事業の状況を表す「業務活動によるキャッシュ・フロー」がプラスとなっており、順調な業務運営を表しています。

一方で、業務活動の一層の充実を目的とし、附属病院再整備事業を推進し、借入金による積極的な設備投資を行いました。

その結果、「投資活動によるキャッシュ・フロー」がマイナス、長期借入金の返済額等の増加により、「財務活動によるキャッシュ・フロー」がマイナスとなっています。



## >国立大学法人等業務実施コスト計算書

|                         | '08/3 (H20/3) | '09/3 (H21/3) | '10/3 (H22/3) | '11/3 (H23/3) | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3) | 増減 (前年比) |
|-------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|
| <b>業務費用</b>             |               |               |               |               |               |               |          |
| 損益計算書上の費用               | 30,351        | 31,772        | 33,530        | 34,496        | 36,913        | 37,979        | 1,066    |
| 業務費                     | 29,144        | 30,159        | 31,965        | 33,057        | 35,102        | 35,875        | 772      |
| 一般管理費                   | 895           | 1,275         | 1,187         | 1,006         | 1,116         | 1,122         | 6        |
| その他                     | 311           | 337           | 377           | 432           | 694           | 981           | 287      |
| (控除) 自己収入等              | △ 18,550      | △ 19,117      | △ 19,731      | △ 22,197      | △ 23,663      | △ 24,165      | △ 502    |
| 授業料等収益                  | △ 5,349       | △ 5,343       | △ 5,150       | △ 5,371       | △ 5,257       | △ 5,113       | 144      |
| 附属病院収益                  | △ 11,472      | △ 11,866      | △ 12,440      | △ 14,151      | △ 15,615      | △ 16,339      | △ 724    |
| 受託・寄附金等収益               | △ 1,336       | △ 1,455       | △ 1,540       | △ 2,068       | △ 2,186       | △ 2,015       | 170      |
| その他                     | △ 392         | △ 452         | △ 599         | △ 605         | △ 603         | △ 697         | △ 93     |
|                         | 11,800        | 12,655        | 13,799        | 12,299        | 13,250        | 13,813        | 563      |
| <b>損益外減価償却等相当額</b>      | 1,453         | 1,387         | 1,399         | 1,611         | 1,564         | 1,504         | △ 59     |
| <b>損益外利息費用相当額</b>       | -             | -             | -             | 6             | 0             | △ 0           | △ 1      |
| <b>損益外除売却差額相当額</b>      | -             | -             | -             | 0             | 0             | 124           | 123      |
| <b>損益外減損損失相当額</b>       | 46            | -             | -             | -             | -             | 41            | 41       |
| <b>引当外賞与増加見積額</b>       | △ 8           | △ 88          | △ 12          | △ 20          | △ 11          | △ 85          | △ 74     |
| <b>引当外退職給付増加見積額</b>     | 83            | 15            | △ 412         | 102           | △ 8           | △ 679         | △ 671    |
| <b>機会費用</b>             | 733           | 771           | 817           | 752           | 589           | 343           | △ 246    |
| <b>国立大学法人等業務実施コスト ※</b> | 14,109        | 14,741        | 15,591        | 14,752        | 15,385        | 15,061        | △ 323    |

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

上記表示の科目は、財務諸表の科目を一部集約し表示しています。

(※) 「国立大学法人等業務実施コスト計算書」は、納税者である国民の皆様の国立大学法人等の業務に対する評価・判断に資するため、一会計期間に属する国立大学法人等の業務運営に関し、国立大学法人等業務実施コストに係る情報を一元化して表示しているものです。  
すなわち、国立大学法人山形大学に対し国民の皆様にご負担いただいている額は、15,061百万円ということになります。

## >収支決算書

|                  | '08/3 (H20/3) | '09/3 (H21/3) | '10/3 (H22/3) | '11/3 (H23/3) | '12/3 (H24/3) | '13/3 (H25/3) | 増減 (前年比) |
|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------|
| <b>収入</b>        |               |               |               |               |               |               |          |
| 運営費交付金           | 12,281        | 13,136        | 13,409        | 12,153        | 12,805        | 12,667        | △ 137    |
| 施設整備費補助金等        | 2,197         | 1,757         | 4,041         | 1,909         | 1,683         | 4,067         | 2,384    |
| 授業料等収入           | 5,293         | 5,234         | 5,197         | 5,196         | 4,972         | 4,921         | △ 51     |
| 附属病院収入           | 11,259        | 11,460        | 12,253        | 14,064        | 15,441        | 16,027        | 586      |
| 受託・寄附金等収入        | 1,575         | 1,688         | 1,829         | 3,154         | 2,953         | 2,880         | △ 72     |
| 長期借入金            | 3,417         | 1,512         | 2,702         | 2,902         | 2,572         | 1,292         | △ 1,279  |
| 目的積立金取崩          | 344           | 381           | 793           | -             | -             | 625           | 625      |
| その他              | 366           | 756           | 2,662         | 1,240         | 1,532         | 2,669         | 1,136    |
|                  | 36,736        | 35,928        | 42,890        | 40,620        | 41,961        | 45,152        | 3,191    |
| <b>支出</b>        |               |               |               |               |               |               |          |
| 業務費・一般管理費        | 27,487        | 28,247        | 30,115        | 28,618        | 30,813        | 32,285        | 1,471    |
| 施設整備費            | 5,615         | 3,269         | 6,743         | 4,812         | 4,255         | 5,360         | 1,104    |
| 受託・寄附金等経費        | 1,506         | 1,601         | 1,710         | 2,608         | 2,387         | 2,248         | △ 138    |
| 長期借入金償還金         | 1,029         | 997           | 1,177         | 1,137         | 1,214         | 1,463         | 249      |
| その他              | 116           | 459           | 2,255         | 897           | 1,196         | 2,334         | 1,138    |
|                  | 35,754        | 34,575        | 42,003        | 38,075        | 39,867        | 43,692        | 3,825    |
| <b>収入 - 支出 ※</b> | 981           | 1,353         | 886           | 2,545         | 2,094         | 1,460         | △ 633    |

注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

収支決算書は、現金主義を基礎とする国の会計に準じた決算報告書を基に、大学の運営状況を表しています。

(※) 平成24事業年度については、収支差額が1,460百万円となっております。複数年にわたる附属病院の整備事業、退職手当の未執行額等及び受託・寄附金等収入において、翌年度以降に継続して実施する事業費を確保したことによるものです。

# >国立大学法人会計の仕組み

国立大学法人は、公共的な性格を有し、利益の獲得を目的とせず、独立採算制を前提としない等の独立行政法人の特性に加え、主たる業務内容が教育・研究である等の特性を持っています。

そのため、通常の業務運営を行った場合には、基本的には利益は生じず、損益が均衡する仕組みとなっています。

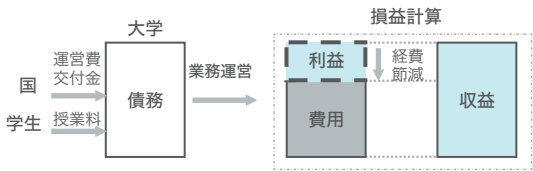
## I. 国立大学法人会計基準の特徴

| 区 分      | 目的                      | 利害関係者       | 記帳形式 | 認識基準 | 決算書類              | 会計基準・法令     |
|----------|-------------------------|-------------|------|------|-------------------|-------------|
| 国立大学法人会計 | 財政状態・運営状況の開示、業績評価のための情報 | 国民その他の利害関係者 | 複式簿記 | 発生主義 | 財務諸表等 (B/S, P/L等) | 国立大学法人会計基準  |
| 企業会計     | 財政状態・経営成績の開示            | 株主、投資家、債権者等 | 複式簿記 | 発生主義 | 財務諸表等 (B/S, P/L等) | 企業会計原則      |
| 官庁会計     | 予算とその執行状況の開示            | 国民、住民       | 単式簿記 | 現金主義 | 歳入歳出決算報告書         | 財政法、会計法、予決算 |

## II. 国立大学法人会計基準の特徴的処理①

国立大学法人は、学生からの授業料や患者からの病院収入をはじめとする自己収入、国からの運営費交付金等を財源として運営されています。

運営費交付金や授業料については、国や学生から受け取った際に、行うべき業務として債務認識します。これらの債務は、行うべき業務を実施すると、原則として期間の進行に応じて収益計上することとなり、効率よく業務を実施し、経費の節減に努めるなどの経営努力により、利益が発生することとなります。



## III. 国立大学法人会計基準の特徴的処理②

運営費交付金や授業料等を財源として資産等を購入した場合、債務を一旦資産見返負債へ振り替え、減価償却に応じて戻入として収益計上します。よって、損益が均衡することになります。

例) 運営費交付金収入10  
(資産10(2年償却)として支出)

|    | 1年目 | 2年目 | 3年目 |
|----|-----|-----|-----|
| 収益 | 0   | 5   | 5   |
| 費用 | 0   | 5   | 5   |
| 損益 | 0   | 0   | 0   |

損益が均衡する

## IV. 国立大学法人会計基準の特徴的処理③

附属病院については、民間企業と同様に、収益と費用を認識します。

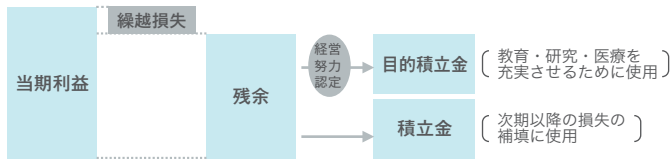
例えば、借入金を財源として資産等を購入した場合、借入金の返済期間と資産の減価償却期間の相違により、見かけ上の利益が発生します。

例) 借入金30(2年で均等返済)  
(資産30(3年償却)として支出)

|    | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 収益 | 0   | 15  | 15  | 0   |
| 費用 | 0   | 10  | 10  | 10  |
| 損益 | 0   | 5   | 5   | ▲10 |

通期では、損益均衡

## V. 国立大学法人の利益処分



利益が発生した場合、前期からの繰越損失を補填し、その残余について、現金の裏付けがあり事業の用に供することが可能な額を文部科学大臣へ申請し、経営努力の認定の後、目的積立金として教育・研究・医療を充実させるために中期計画の目的に従って使用することが可能となります。



## >概要

### 国立大学法人 山形大学

平成 25 年 5 月 1 日現在

|            |                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地.....   | 山形県山形市小白川町一丁目 4 番 12 号                                                              |
| 設立根拠法..... | 国立大学法人法                                                                             |
| 主務大臣.....  | 文部科学大臣                                                                              |
| 学生数.....   | 9,121 人 ( 学士課程 7,695 人、修士課程 956 人、博士課程 288 人<br>専門職学位課程 44 人、その他(別科・科目等履修生等)138 人 ) |
| 教員数.....   | 1,399 人(常勤 959 人、非常勤 440 人)                                                         |
| 職員数.....   | 1,899 人(常勤 1,283 人、非常勤 616 人)                                                       |
| 資本金.....   | 528 億 2,715 万円                                                                      |

#### アニュアルレポートに関するお問い合わせ窓口

〒990-8560  
山形県山形市小白川町一丁目 4 番 12 号  
国立大学法人 山形大学 財務部  
TEL:023-628-4052  
FAX:023-628-4051  
山形大学ホームページ  
<http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

●本アニュアルレポートは最新の事業や財務の状況について報告したものです。

平成 25 年 11 月発行



—学生が主役の大学創り—  
国立大学法人 山形大学

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。